

夜行列車の「愛称」



「サンライズ出雲」の方向幕

1.はじめに

夜行列車の多くには、「サンライズ出雲」、「トワイライトエクスプレス」、「ムーンライト」などといった「愛称」が付与されています。

ここでは現在走っている夜行列車、廃止された夜行列車問わず、それらの「愛称」を見た後に、その「愛称」にはどのような意味が込められているのか、また数多くある夜行列車の「愛称」は他の昼行列車の「愛称」と比べてどのような傾向がみられるか、さらに「愛称」にはどのような分類が出来るのか、ということを中心に書かせていただきます。

今までに走った全ての夜行列車を取り上げることは出来ないため、まずは代表的な夜行列車(特急、急行、快速)について取り上げたいと思います(夜行普通は公式な愛称でない場合があるため除外)。

2.夜行特急・豪華寝台列車の例

①「サンライズ瀬戸・出雲」



1998年に運行を開始した東京～高松・出雲市間を結んでいる、現在唯一定期での運行がある寝台特急です。「サンライズ瀬戸」も「サンライズ出雲」もどちらもかつて同じような区間を走行していたブルートレインの「瀬戸」「出雲」の後継列車ということで、この名前が付与されています。

「サンライズ」は太陽の日の出を意味する言葉であり、日の出が見どころである寝台特急に相応しい名前となっています。また他の多くの夜行列車は夜をイメージさせる愛称なのに対して、この「サンライズ」は太陽の明るいイメージなのも特筆したいポイントです。「瀬戸」に関しては本州と四国の間の瀬戸内海から、「出雲」に関しては島根県東部の旧国名から採用されています。いずれも地名に沿った名前となっています。

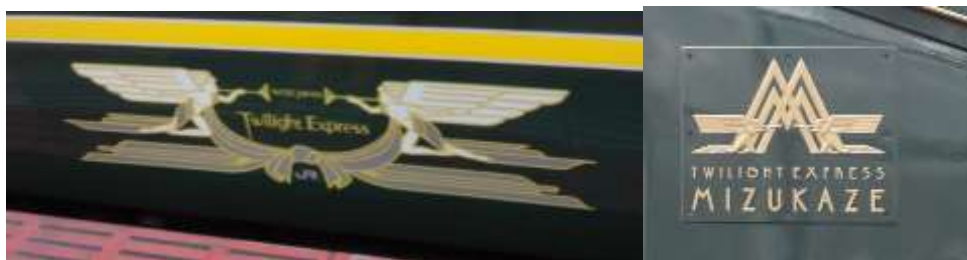
②「トワイライトエクスプレス瑞風」



東洋経済 徹底解説「トワイライト瑞風」のインテリア 6月運行開始、JR西日本の期待の豪華寝台列車
(toyokeizai.net/articles/-/164027)より引用

2017年から運転を開始した主に中国地方を周遊、観光するJR西日本の豪華寝台列車です。

列車名の「トワイライトエクスプレス」はもともと大阪～札幌間を走っていた寝台特急の名称であり、「トワイライト」自体は日の出前や日没後の薄明、あるいは、おぼろげな光を指す語であり日の出、日の入が見どころの夜行列車に相応しい名前ではないでしょうか。



大阪～札幌間を結んだ「トワイライトエクスプレス」のデザイン(左)
現在の「トワイライトエクスプレス瑞風」のデザイン(右)

「瑞風」とは「みずみずしい風」のことで、「吉兆をあらわすめでたい風」という意味を併せもち、加えて、稲穂が豊かに実る日本の美称として「瑞穂の国」というものがあり、そこに新しい「トワイライトエクスプレス」という風が幸せを運んでくる、という情景をイメージしています。

③ 「West Express 銀河」



WEST EXPRESS 銀河、2021年夏・秋には紀伊半島方面へ(www.tetsudo.com/news/2374/)より

去年から運行を開始したJR西日本の長距離列車です。夜行としてはこれまで

京都～出雲市間、京都～新宮間が運転されてきました。

列車名の「West Express」は西日本を走る特急として、「銀河」は広い宇宙に存在する様々な星の集まりを指し、この列車が運転する西日本エリアを宇宙に、各地の魅力的な地域を星になぞらえ、それらの地域を結ぶ列車という意味が込められています。なお「銀河」に関しては後述しますが、かつて走っていた東京～大阪間の寝台急行に使われた愛称でもあります。

④「さくら」



↑「さくら」のテールマーク [Wikipedia\(ja.wikipedia.org/wiki/さくら_\(列車\)\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/さくら_(列車))より引用

「さくら」は1929年から1942年までに運転された、東京～下関間を結んでいた夜行列車および1959年から2005年まで東京～長崎間を結んでいた夜行列車につけられた愛称です。

1923年から運転されていた無名の夜行列車に親しみを持ってもらうために鉄道省が公募を通じて付与したもので、「富士」と共に鉄道省最初の列車愛称となりました。

また2011年の九州新幹線開業時に「さくら」は夜行列車廃止後の2008年に行われた公募で1位となったことで新大阪～鹿児島中央間の列車に付与されることとなりましたが、選考理由は「日本の美しさ、力強さ、凛々しさを表す“凛”をキーワードとして日本的なもてなしの心地よさ」を表現したもので、公式にはかつての寝台特急の存在が理由となったものではありませんでした。

長くなってしまうので詳しくは紹介出来ませんが、現在の新幹線につけられている「はやぶさ」(東京～新函館北斗)、「つるぎ」(富山～金沢)、「みずほ」(新大阪～鹿児島中央)はかつて夜行列車に付けられていた愛称でもあります。また「は

やぶさ」以外は走行地域も一部被っています。

3.夜行急行の例

夜行特急、豪華寝台列車に続けて夜行急行の例についてもいくつか紹介します。

①「銀河」



のりものニュース 東海道本線の寝台急行「銀河」どんな列車だった？ JR西日本で夜行列車として「復活」(trafficnews.jp/post/84586)より引用

1930年から運転されていた無名の大阪～東京間の夜行列車に、1949年に命名されたものです。これは日本初の愛称付き急行列車だったようです。東海道新幹線の高速化、低価格のバスの成長により2008年に廃止されました。これは2005年から2009年のブルートレイン廃止ラッシュに重なります。

この「銀河」は夜の星空をイメージさせるということで、旧国鉄内の慣習であった「夜行列車に天体関連の名前を付与する」というものに沿ったものの1つとなります。



↑「銀河」のマーク Wikipedia(ja.wikipedia.org/wiki/銀河)より引用

②「能登」

急行「能登」は2012年まで上野～金沢間を結んでいた夜行急行です。1959年に東京から米原経由で金沢を結んだ列車がこの「能登」の名前の初出で、変更を重ねて上野～金沢間を長岡(新潟県)経由で結ぶ夜行急行として長年親しまれました。「能登」は石川県北部の旧国名の能登半島から来ているのですが、「能登」を名乗りながらも旧国の能登国に該当する地域には入らず、加賀国にあたる地域までの運転でした。

③「はまなす」



日本車両 最後の寝台急行「はまなす」

(www.nsharyo.co.jp/museum/train_essay/20160318hamanasu.html)より引用

1988年から2016年まで青函トンネルを経由して青森～札幌間を結んだ急行です。現在も発売されている格安の旅行切符である東日本&北海道パスに追加料金を払えば乗車できることから、安価で北海道旅行をしたい人に多くの需要がありました。

「はまなす」は、一般公募によって植物のハマナスから名付けられたものでした。

4.夜行快速の愛称

例…「ムーンライトながら」



ムーンライトながら マイナビニュース(news.mynavi.jp/article/20210122-1666486/)より

東海道新幹線開業前から、東海道本線の東京～大垣間を夜通し走る夜行普通の「大垣夜行」を引き継ぐ形で、1996年に運行を開始した夜行快速列車です。2009年に臨時化したのちに2020年の運転を以て廃止となりました。この「ムーンライトながら」の「ムーンライト」は1990年代ころから走り始めほとんどの夜行快速に付与された愛称になるのですが、Moon Light(月の光)ということでこれも夜行列車に相応しい愛称となっています。そして「ながら」は走行区間の西岐阜～穂積間に流れる長良川を由来としています。

5.まとめ

ここまで夜行特急、夜行急行、夜行快速とそれぞれ代表的な列車を取り上げて来ましたが、筆者はこれらの愛称には3つのグループに分けられるのではないかと考えました。

まず1つ目は、地名を冠するものです。これには行先を瞬時に把握することが出来るというメリットがあります。先述のものであれば「瀬戸」、「出雲」、「能登」、夜行快速が該当します。

次に2つ目は、行先をイメージさせる、または抽象的なイメージである動植物

の名前を冠するものです。「さくら」、「はまなす」がこれに該当します。

そして3つ目は夜、朝をイメージしたものです。先述の通りかつての国鉄には「夜行列車に天体関連の名前を付与する」という慣習があったことも影響してこの種類の愛称は非常に多くなっています。先ほど紹介したものであれば、「サンライズ」、「トワイライトエクスプレス」、「銀河」が該当します。

定期列車を中心にこれまで走った夜行列車をまとめるとこのようになります。

愛称と行先の関連表 夜行特急版

	①地名関連	②動植物関連	③天体関連
北海道方面			・北斗星 ・カシオペア ・トワイライトエクスプレス
東北方面	・鳥海 ・出羽 ・日本海	・はくつる ・ゆうづる	・あけぼの ・北星
中部方面	・紀伊		
中四国方面	・出雲 ・瀬戸 ・いなば		
九州方面	・なは ・富士	・みずほ ・さくら	・あさかぜ ・あかつき ・月光 ・彗星

夜行特急に関しては3種類の間には大きく偏りはなく、バラエティーに富んでいたと言えるでしょう。強いて言うならば、天体関連が多めになっていますが、これは旧国鉄内の慣習であった「夜行列車に天体関連の名前を付与する」というものに由来しているのではないかと思います。

愛称と行先の対応表 夜行急行版

	①地名関連	②動植物関連	③天体関連
北海道方面	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪 ・利尻 	<ul style="list-style-type: none"> ・すずらん ・まりも ・はまなす 	
東北方面	<ul style="list-style-type: none"> ・おいらせ ・おが ・津軽 ・八甲田 		<ul style="list-style-type: none"> ・新星
中部方面	<ul style="list-style-type: none"> ・アルプス ・越前 ・加賀 ・きそ ・きたぐに ・立山 ・つるぎ ・妙高 ・ちくま 		<ul style="list-style-type: none"> ・銀河
中四国方面	<ul style="list-style-type: none"> ・さんべ ・だいせん ・鷺羽 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちどり 	
九州方面	<ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇 ・雲仙 ・かいもん ・きりしま ・くにさき ・玄海 ・西海 ・日南 		

夜行急行は地名を冠した列車が非常に多いです。これには行先を瞬時に判断できるということがあるのではないのでしょうか。

愛称と行先の対応表 夜行快速版

	名称(全て「ムーンライト」を冠する)
東北方面	・ 仙台(東京～仙台) ・ 東京(東京～仙台) ・ 松島(上野～仙台) ・ 横浜(山形～大船) ・ えちご(新潟～村上)
中部方面	・ ながら(東京～大垣) ・ 信州(新宿～白馬)
中四国方面	・ 山陽(京都～下関) ・ 松山(京都～松山) ・ 高知(京都～高知) ・ 八重垣(京都～出雲市)
九州方面	・ 九州(京都～熊本)

すべての列車が地名に関するものであることがわかります。これに関しては詳しい理由は明らかではありませんが、東北方面から東京へ向かう列車が「ムーンライト東京」、逆が「ムーンライト仙台」であることからうかがえるように、植物や自然現象と言った大雑把なイメージよりかは、行先を一目で判別できる地名のほうが相応しいと判断したからと言えるでしょう。

6.おわりに

夜行列車における「愛称」の役割についておわかりいただけただけでしょうか。一見マニアックな内容ですが「愛称」は身近なものでもあると思います。稚拙な文章でしたが最後までお読みいただきありがとうございました。

7.参考文献

JR 西日本 www.westjr.co.jp/

JR 東日本 www.jreast

Weblio 辞書 www.weblio.jp

鉄道コム 東海道本線のムーンライトながら、廃止に
www.tetsudo.com/news/2398

DATA FILE 鉄道 優等列車の系統1・2

鉄道ジャーナル 1996年5月 「鉄道と愛称」

※写真は特記なければ筆者撮影